

## 案内

### 第18回

#### 日本慢性看護学会学術集会

日時：8月10日(土)～11日(日)

会場：神戸国際会議場(神戸市中央区)

テーマ：慢性の病いと生きる人の生活を整えるケア—症状とともに生きていくことを支える

プログラム：会長講演「慢性の病いと生きる人の生活を整えるケア—症状とともに生きていくことを支える」森菊子(兵庫県立大学看護学部)／教育講演1「患者中心の症状マネジメントと看護ケア」内布敦子(敦賀市立看護大学理事長兼学長)／2「慢性病者の生活を整えるケア」藤田愛(北須磨訪問看護・リハビリセンター所長)／シンポジウム1「地域で慢性病とともに生きる人の生活をささえるための多職種連携—地域の診療所における高度看護実践」山尾美希(慢性疾患看護専門看護師、あさかぜ診療所)、江尻新太郎(医師、あさかぜ診療所院長)、中村明博(理学療法士、(株)LIFELUBEのひとつぎ訪問看護リハビリステーション)、石田雅和(介護福祉士、(株)トータルケア八尾)／基調講演「思いをくみ取る看護—コミュニケーションデザインとは何か?」平田オリザ(芸術文化観光専門職大学学長)／教育講演3「時間栄養学の視点から慢性疾患患者の食事を考える」永井成美(兵庫県立大学環境人間学部食環境栄養課程教授)／シンポジウム2「臨床データから患者の生活を推論する高度看護実践技術とは—治療・生活のゆるめ方を見極める看護技術」仲村直子(慢性疾患看護専門看護師・神戸市立医療センター中央市民病院)、長谷川智子(慢性疾患看護専門看護師・北海道大学病院)、高橋奈美(札幌市立大学看護学部准教授)

参加登録期間：[前期申込]6月30日(日)23:59まで、[後期申込]7月1日(月)0:00～9月30日(月)17:00

参加登録方法：下記Webサイトの登録フォームより

URL：http://mansei18.umin.jp/registration.html

参加費：[前期申込]会員9000円、非会員1万1000円、[後期申込]会員1万円、非会員1万2000円、[前期後期とも]大学院生8000円、学生(大学・専門学校)3000円、団体5万円

※大学院生、学生は登録後3日以内に学

生証の写し(画像ファイル)を下記E-mailアドレスまでメール添付で送付

※団体は学生限定の参加枠。17名以上はお得

問い合わせ先：運営事務局

株式会社インターグループ内

〒531-0072 大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル

TEL：06-6372-3053

FAX：06-6376-2362

E-mail：jscin18@intergroup.co.jp

URL：http://mansei18.umin.jp/index.html

## 案内

### 第28回

#### 日本看護管理学会学術集会

日時：8月23日(金)～8月24日(土)

会場：名古屋国際会議場(名古屋市熱田区)

テーマ：看護のルネサンス—より自由に、より人間らしく、看護を描き出す

プログラム：会長講演「看護のルネサンス—より自由に、より人間らしく、看護を描き出す」秋山智弥(名古屋大学医学部附属病院卒後臨床研修・キャリア形成支援センター教授)／基調講演「超人ナイチンゲール—看護は魂にふれる革命なのだ」栗原康(東北芸術工科大学非常勤講師)／海外招聘講演「看護の原点回帰—ビュートゾルフが描くオランダの地域看護」ヨス・デ・ブロック(オランダ・ビュートゾルフ創設者・CEO)／特別講演1「未来のために 地域・人・社会・今を動かす」鍋島洋行(大橋運輸株式会社代表取締役社長)／2「因縁に導かれたチベット仏画への道—仏教徒にとつての命とは」馬場崎研二(タンカ絵師)／教育講演1「インクルーシブな食支援を目指して」小山珠美(NPO法人口から食べる幸せを守る会理事長)／2「排便ケアのアート&サイエンス」榊原千秋(合同会社プラスぼぼ代表)／3「アフォーダンス再び—認識の原点としてのからだ」佐々木正人(東京大学名誉教授)／4「対話ロボットを通じて人を知る」小川浩平(名古屋大学工学部准教授)／特別企画1 鼎談「コロナ初期の倫理的葛藤を振り返る」別府千恵(北里大学医学部附属病院副院長・看護部長)、佐藤美子、北川順子(令和あらかわ病院副看護部長)／2 イベント「Effective Medical Creation ケアとしてのファッション—人と環境を彩る色と

デザイン」武澤恵理子(総合デザイナー協会医療委員会、医療クリエイター)、コシノヒロコ(総合デザイナー協会医療委員会、マルチデザイナー)／3 ワークショップ「医療MaaSと看護のコラボレーション—地域で看護が活躍できるICTを活用した新たなモデル」安江輝(長野県伊那市役所企画部企画政策課主幹、新産業技術推進係長)、中山法子(山口市徳地診療所、診療看護師)、酒井博崇(藤田医科大学保健衛生学部看護学科准教授)、数田耕一(トヨタ車体株式会社商用企画部)、渡邊真智子(浜松看護管理研究会、袋井市立聖隷袋井市民病院看護師長)／緊急特別企画 能登半島地震「『支援する側』と『される側』が備えること」中村真寿美、神野亜紀子(金沢医科大学病院看護部長)、澤味小百合(能登総合病院副院長・看護部長)／シンポジウム1「病院と地域をつなぐ外来看護」柴山大賀(筑波大学医学医療系教授)、東谷朗子(手稲溪仁会病院副看護部長)、亀島加代(公立陶生病院看護部長)、山田香代子(会津医療センター副院長・看護部長)、佐々木知輝(東京都健康長寿医療センター副看護部長)／2「外国人との共生社会—共に働き、共に暮らす」佐々木聖子(公益財団法人入管協会常任理事)、武田裕子(順天堂大学医学部教授)、伊藤加代子(名古屋市立大学医学部附属病院副看護部長)、熊澤和秀(医療法人偕行会国際医療事業部副事業部長)、森洋子(中部脳リハビリテーション病院看護部長)／3「質改善や病棟マネジメントへの未来を拓く—ナースのための数字の読み方・活かし方」森脇睦子(東京医科歯科大学病院准教授)、林田賢史(産業医科大学病院医療情報部部長、教育教授)、森岡典子(東京医科歯科大学大学院講師)／4「今一度考える：社会をよりよくするために、医療者ができること」岡田悠偉人(ハワイ大学、疫学専門家)、北岡侑子(日本ベンチャーキャピタル株式会社常務執行役員)、紅谷浩之(医療法人社団オレンジ理事長、医師)／5「人間らしさを取り戻すケア—ユマニチュードの哲学とその実践」イブ・ジネスト(ジネストマレスコッティ研究所所長)、本田美和子(東京医療センター高齢者ケア研究室室長、医師)、杉本智波(南福岡脳神経外科病院看護統括部長)／6「RWD(リアルワールドデータ)で看護を描き出す」林田賢史(産業医科大学病院医療情報部部長、教育教授)、森田光治良(東京大学グローバルナッシングリサーチセンター講師)、森岡典子(東京医科歯科大学大学院講師)、横田慎一

郎（東京大学大学院講師）／7『イケてる組織』の看護管理者とは—VUCAの時代、自由と規律との間で』渡邊光康（医療法人財団愛慈会相和病院病院長）、松田淳（KPMGヘルスケアジャパン株式会社CEO）、若命真裕子（東京大学医学部附属病院看護師長）／パネルディスカッション1「専門職としての看護の『ことば』を考える」丸山和昭（名古屋大学教育学部准教授）、上鶴重美（看護ラボトリー・NANDA-I代表・次期理事長）、黒田由彦（椋山女学園大学学長）／2「コロナ禍をこえた今、医療提供体制はどう変わったか」小澤知子（東京医療保健大学教授）、斐英洙（慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科経営管理研究科特任教授）、三成都由子（愛仁会高槻病院看護部長）、五十嵐行江、松本ひろみ（香川県立病院看護部長）／3「看護職副院長は組織や社会に何をもらしたか」井部俊子（株式会社井部看護管理研究所代表）、田淵典子（社会医療法人石川記念会HITO病院看護部）、神保京美（伊勢原共同病院副院長・看護部長）、北川喜己（名古屋掖済会病院病院長）／4「医療DXはどこまで進んだか」美代賢吾（国際医療センター医療情報部教授）、村岡修子（NTT東日本関東病院副看護部長）、石川賀代（社会医療法人石川記念会HITO病院理事長）、高階利昭（岐阜市民病院副看護部長）、鈴木輝彦（名古屋大学医学部附属病院看護師長）／市民公開講座「あきらめない心—義士の看護師・バイオリニスト」伊藤真波（看護師）

通常参加登録（クレジットカード決済のみ）：7月1日（月）正午～9月30日（月）正午  
参加費：「通常登録」会員1万3000円、非会員1万5000円、情報交換会6000円

登録方法：下記Webサイトの登録フォームより

URL：https://www.congre.co.jp/28janap/contents/registration.html  
問い合わせ先：運営事務局  
株式会社コングレ中部支社内  
〒461-0008 愛知県名古屋市中区武平町5-1名古屋栄ビルディング7階  
TEL：052-950-3430  
FAX：052-950-3370  
E-mail：28janap@congre.co.jp  
URL：https://www.congre.co.jp/28janap/index.html

## 案内

### 日本家族看護学会 第31回学術集会

日時：現地会場 9月14日（土）～15日（日）、一部オンデマンド配信  
会場：鎌倉芸術館（神奈川県鎌倉市）  
テーマ：いま、語り合おう！臨床家の実践知、研究者の探究知、そして家族の体験知—ダイナミックな融合をめざして  
プログラム：学術集会長講演「いま、語り合おう！家族看護の知のトライアングル」井上玲子（東海大学大学院医学研究科看護学専攻）／特別講演「お産の現場から家族の魅力を探る」井上裕美（湘南鎌倉総合病院産婦人科）／シンポジウム1「日本文化から家族看護の高度実践をデザインする」西村ちえ（ハワイ州聖ルカクリニック、Family Nurse Practitioner）、ヴァンオメン里香（元クイーンズメディカルセンター、Adult-Gerontology Clinical Nurse Specialist）、高見紀子（北里大学病院、家族支援専門看護師）／2「災害に備える—認知症の高齢者と家族を地域で支える」栗田駿一郎（日本医療政策機構）、久保田千景（鈴鹿医療科学大学保健衛生学部救急救命学科）、安武綾（熊本県立大学総合管理学部総合管理学科）／30周年記念企画「家族の変容にどう向き合うか」上別府圭子（国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科保健医療学専攻）、山元一（慶應義塾大学法科大学院法務研究科）／教育講演1「プライマリ・ケアにおける家族支援—巣立ちから看取りまで」若林英樹（三重大学医学部名張地域医療学講座）／2「臨床家の感性を磨く」小林隆児（感性教育臨床研究所）／市民公開講座「今、語り合おう！バトンでつながる家族と医療者のチームワーク」塚原直貴（2008年北京オリンピック銀メダリスト）／家族会企画「いま、語り合おう！専門職と家族のコラボレーション」岡知史（上智大学総合人間学部社会福祉学科）、小松守也（特定非営利活動法人横須賀つばさの会）、矢村美穂子（日本ALS協会支部）、伊藤麻衣（小児がん患者会ネットワーク和楽～waraku～）／「オンデマンド配信」講義「周産期の家族とメンタルヘルス」新井陽子（群馬大学大学院保健学研究科看護学専攻）／「特定妊婦の出産・育児—妊婦を取り巻く家族への支援」井上尚子（秦野市役所こども健康部、保健師）／「NVivoを用いたフォーカスグループインタビューの分析例」佐藤正美（東京慈恵医科大学医学

部看護学科）／「量的研究の事例から紐解く『患者と家族の健康』と『健康に関連する要因』の探究」友滝愛（東京大学大学院医学系研究科附属グローバルナースングリサーチセンター）／「EndNoteを使った文献管理の実際」谷山牧（国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科）／「ヘルピングスキルを用いた家族面接技法」成瀬麻夕（東京国際大学人間社会学部福祉心理学科）

参加登録期間：「事前参加登録」9月13日（金）24:00まで、「当日参加登録」9月14日（土）6:00～10月31日（木）15:00  
参加登録方法：下記Webサイトの参加登録フォームより  
URL：https://gakkai.macc.jp/jarfn/31/  
参加費：「事前登録」会員1万円、非会員1万1000円、学生（院生を除く）1000円、「当日以降登録」会員1万1000円、非会員1万2000円、学生（院生を除く）2000円  
※学生は、登録時に学生証を添付  
問い合わせ先：運営事務局  
株式会社MAコンベンションコンサルティング  
〒102-0083 東京都千代田区麹町4-7 麹町パークサイドビル402  
TEL: 03-5275-1191  
FAX: 03-5275-1192  
E-mail: jarfn31@macc.jp  
URL：http://jarfn31.umin.jp/

※掲載情報は2024年5月31日時点の内容です。学会開催の有無など、最新の情報は主催元にご確認ください。